令和８年度　全国学力・学習状況調査結果の概要

座間市教育委員会

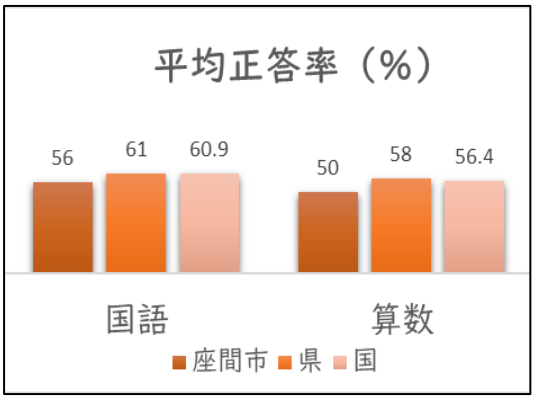
令和８年４月２３日を調査基準日として、市内小学校６年生及び中学校３年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の座間市の結果の概要をお知らせします。

中学校英語は CBT（学習用端末で行う試験）で実施し、※IRT（項目反応理論）に基づき算出したスコアにより結果を表示しています。

※IRT とは：正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童・生徒の学力スコアを推定する統計理論のこと。異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較できます。

各教科の平均正答率と結果のポイント

小学校６年生

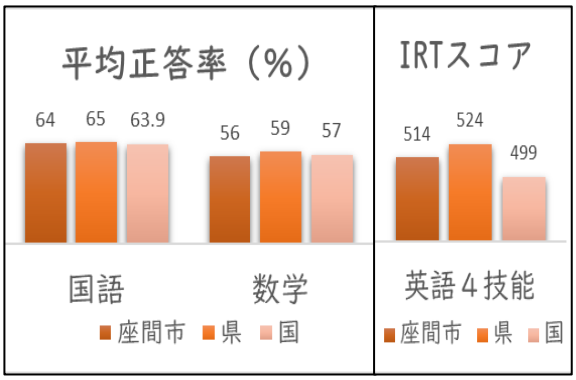


市内小学校の平均正答数・平均正答率

	国語		算数	
	13問		16問	
	正答数 問	正答率 %	正答数 問	正答率 %
座間市	7.3	56	8.0	50
神奈川県	7.9	61	9.2	58
全国	7.9	60.9	9.0	56.4

国語	文章を引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られました。
算数	異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述することに課題が見られました。

中学校３年生



市内中学校の平均正答数・平均正答率・平均IRTスコア(※)

	国語		数学		英語
	15問		16問		
	正答数 問	正答率 %	正答数 問	正答率 %	IRTスコア
座間市	9.6	64	9.0	56	514
神奈川県	9.7	65	9.5	59	524
全国	9.6	63.9	9.1	57	499

※IRT スコアとは、IRT に基づいて 500 を基準にした得点で表したもの

国語	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることに課題が見られました。
数学	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することに課題が見られました。
英語	社会的な話題に関して、話を聞き、要点を捉えることはできていますが、聞いたことについて、考えとその理由を話すことに課題が見られました。